



さいたま文学館チャレンジシート

埼玉県マスコット「コバトン」

Vol,2

_____年 _____組() なまえ _____月 _____日

対面ができなくなってコトバでの表現がより大切になったこの機会を、コトバ磨きの時間にあててみよう！ Vol,1～Vol.2までは、「程度」を表すコトバについて考えてみるよ。

Vol.1 では、「ヤバい！」というコトバにいろんな意味があることがわかったね。単に「ヤバい！」といただけじゃ、どの意味だか分からないという事がわかったね。

Vol.2 では、更に踏み込んで「どのくらいヤバい！」のかをどうやって伝えるか考えてみよう！もし対面していたら、声の大きさ、強さ、アクセントのつけ方で程度を伝えられるけど、文章だけじゃそうはいかないね。「ヤバい！」と一緒に使われることの多い程度のコトバに「マジで」とか「超」があるね。これらのコトバは、ヤバい！を強調しているね。これらの仲間の程度を表すコトバを探してみよう。

2、このコトバ君ならどう使う？

文学では、どのような程度を表すコトバがあるかな？

コトバを巧みに操る文学者でも、どんな言葉を使ったらいいか迷うことがあるみたいだね。

この原稿をみると後から足してあるね。

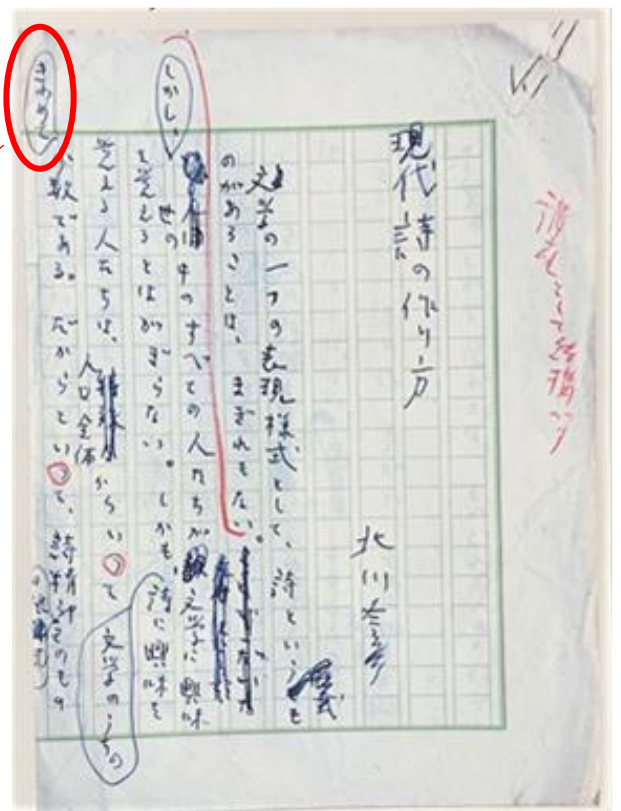
○コトバの意味

きわめ - て [きはめ・・]【極一】〔副〕

(動詞「きわめる(極)」の連用形に助詞「て」が付いてできた語)

(1)程度の極限を表わす語。この上もなく。最も。はなはだ。非常に。きわまりて。

(2)きっと。必ず。確かに。 (『日本国語大辞典』)



北川冬彦 現代詩の作り方 原稿

コラム 埼玉ゆかりの文学者

北川冬彦は、昭和20年11月から23年3月12日まで浦和市岸町の旅館で生活していた詩人です。

画像は、現代詩の作り方について書いた自筆原稿。さいたま文学館に6枚所蔵しています。

○程度を表すコトバを書き出してみよう！ キミはたくさん知っているかな？

①たくさん	②	③	④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫